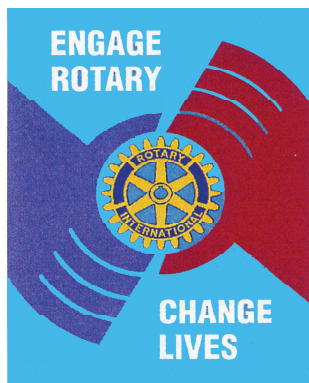
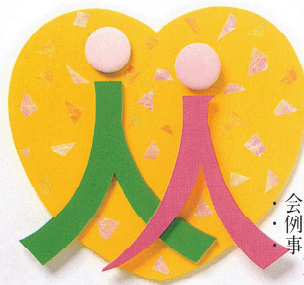




ロータリーを实践し
みんなに豊かな人生を



会長 箕輪 良孝 ・ 幹事 加藤 清久 ・ 会報 福岡 健
・ 例会日 毎週金曜日 12:30 ・ 例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田2570-3
・ 事務局 尾張旭商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
E-mail: owariasahi@mte.biglobe.ne.jp URL: http://www.owariasahi-rc.jp/

～磨いて 輝こう～

本日 第2068回 2013年8月 9日(金) No. 1958

本日のプログラム Today's Program

卓話担当者: 高島 昇 会員増強委員長

卓話者: メディカルマネジメントプラス代表、NP0法人日本人間
関係心理士協会理事、交流分析応用士エキスパート、
中部大学サテライトカレッジ講師、日本笑い学会会員

点 鐘

ロータリーソング「日も風も星も」

山本 律江 様
演 題: 「職場の活性化 コミュニケーショントレーニング」

前回 第2067回 2013年8月 2日(金) 記 録

○ 斉 唱: 「君が代」・「奉仕の理想」

○ ゲスト: RI第2760地区 パストガバナー

豊田 R C 齋藤 直美 君

○ 来訪者: 安城 R C 会長 都築 雅人 君、幹事
神谷 研 君、副幹事 横山 真喜男 君
国際奉仕委員長 寺田 孝司 君、親睦活動
委員 亀島 深里 君

中部名古屋みらい R C 菅井 徑世 君

○ 出席者: 会員26名中21名出席 出席率80.76%
前々回補正出席率 7月19日分 100%

会長あいさつ 箕輪 良孝

本日は、2760地区齋藤直美パストガバナーをお迎えし卓話をいただきます。また前年度地区内交流で訪問いたしました安城ロータリークラブの都築会長を始め5人の皆様に訪問していただき感謝申し上げます。

先回は夜間例会でした。親睦活動委員会の皆さまありがとうございました。奉仕を進める原動力である親睦のエネルギーを大いに貯えることができました。

いよいよ8月様々な奉仕が始まります。

さて今月は会員増強及び拡大月間です。新しい会員の方にお話しします。会員増強とは会員を増やすことです。拡大とは新たにロータリークラブを設立させることです。このことは、月間中のみでなく常に取り組んでいかなくてはなりません。会員を増やすという

ことは、仲間を増やすことです。ロータリークラブを紹介する時、説明に困ることがあります。まずロータリーの目的を紹介することから始めてください。知り合いを広め奉仕の機会を作ることがロータリークラブです。知り合いをひろめることによって自分自身も高められ、自分の職業人としての資質も高まります。とはいえロータリーは奉仕の理想を求めています。

これは丁度私の世界である「禅」と似たところがあります。禅は言葉で中々説明できないところがあって、自ら体験、体得しなければならないものなのです。ロータリーもメンバーになってから体得していくところが多くあります。

ロータリーに誘う時、本人がロータリアンとして生き生きしていることが大切です。今年度の地区方針が、磨いて、輝こうです。私たち自身が輝いていれば、おのずから仲間が増えてきます。

幹事報告

・ 8/1 尾張旭市まつり実行委員会 於尾張旭市中央公民館 舟橋社会奉仕委員長出席

・ 本日の会合: 第5回理事役員会

・ 次回の会合: なし

・ 例会変更のお知らせ: 別紙

・ 事務局、夏休み 8/13(火)～8/16(金)

会員増強および拡大月間

	8月16日(金)	8月23日(金)	8月30日(金)	9月 6日(金)
例 会 予 定	定款第6条第一節 休会	卓話担当者: クラブフォーラム 国際奉仕委員会 卓話者: 西尾 輝久 君 演題: 「国際奉仕について」	卓話者: 菊田 利昭 君 演題: 「自己紹介」	卓話担当者: 青少年奉仕委員会 卓話者: 桜井 雅博 君 演題: 「 未定 」

第5回理事役員会報告

- 日時 平成25年8月2日（金）13:40～
場所 尾張旭市商工会館内 第一会議室
- 議題 1) 新入会員について（箕輪会長）
承認された。
- 2) 地区大会について（箕輪会長）
出席者についての案内
- 3) 地区研修協議会について
（山田実行委員長）
組織図にて承認された。
- 4) 月見例会について
（唐井親睦活動委員長）
提案書にて承認された。
- 5) 「福祉マインドフェア尾張旭2013」について
（舟橋社会奉仕委員長）
社会奉仕委員長、幹事出席。
協賛金拠出を承認された。
- 6) 緑化推進基金への協力について
（舟橋社会奉仕委員長）
今年度は見送り。
- 7) 市民祭チラシ配布について
（舟橋社会奉仕委員長）・
（桜井青少年奉仕委員長）
一部変更のうえ承認された。
- 8) (8/9) 会員増強委員会セミナーの件
（仲澤プログラム委員長）
承認された。
- 9) その他の件
・安藤花乃音さん、ゲスト来訪（8/9）、お見送り（8/24）について
（桜井青少年奉仕委員長）
・決算報告書（前年度）について

安城RC 訪問



△安城RC会長 都築 雅人君



△来訪メンバー（左側）



卓 話

「ロータリー雑感」 齋藤 直美君
新世代奉仕は、ロータリーの第5の奉仕となりました。呼称はともかくとして、青少年への関わりを深め次世代のリーダーとして育成しようという考えは、ロータリー創立の初期よりあったようです。1923年

セントルイス世界大会においても、青少年奉仕委員会の設置が叫ばれたようです。1960年代に入り、国際ロータリー（RI）は新世代の為のプログラムを多く設けました。その中でも青少年交換は、各クラブに好意的に受け入れられ大きく発展してきました。2005年、RIは「青少年交換に関する行動指針」を発表し、青少年交換プログラム実施にあたり学生の保護を厳しく求めてきました。（①青少年交換委員会を法人化すること、②そして法人が保険に加入すること、③地区・クラブに危機管理委員会を設置すること。）上記3点をクリアしなければ、地区・クラブは青少年交換プログラムを実施できないとするものでした。日本では、34地区が一本化されクリアできました。2008年のことでした。

しかし、「危機管理委員会」というネーミングがロータリーにはなじまず、何をする委員会なのか各地区に浸透しませんでした。2010年度よりNP0法人国際ロータリー日本青少年交換委員会（RIJYEC）では、この普及に努める3年計画を立て、実施を始めました。

しかし突然、2011年3月11日東日本大震災が発生し、日本の青少年交換事業は大混乱に陥りました。受入れ学生の御両親、スポンサークラブより母国へ帰国させるようにという、強い要請が続きました。2760地区青少年交換委員会では、「一時愛知へ避難させて下さい。愛知が引き受けます。全員でもよろしいです。」と日本全地区へ発信しました。その覚悟は岡田委員長のリーダーシップの基に、2760地区8分区への振り当てまで検討されました。しかし実際には、ほとんどの学生が帰国してしまいました。それでも長崎、京都、大阪など数地区へ学生が一時避難しました。この時を境に、オールジャパンの考え方が生まれ、関西空港からの帰国、福岡港からフェリーによる釜山への避難など討議されました。そして次第に危機管理という意識が、日本ロータリーに浸透しました。

この大混乱の中で生まれた物語があります。

4月の緊急全国委員長会議（大阪）の最中に、一つの話が流れました。オーストリアのロータリーより、「福島の高校生を何人でもオーストリアで過ごし、癒しの夏休みにして下さい。滞在費は全てオーストリアのロータリーが負担します。」という招待でした。8月3日、豊田地区5RCで歓送会を開き、豊田に泊まり、翌日セントレア空港よりウィーンへ飛び立ちました。今年の5月のピースフォーラム広島では、1963年オーストリアに派遣された7人の皆さんが、元気に「50年を振り返って」と感想を述べて下さいました。

こんな物語を作るのがロータリーではないでしょうか？仏、豪、カナダ、ブラジルでも同じ物語があるはずです。気が遠くなる程の時間とエネルギーが必要であり、しかも継続という作業が求められるからこそ、物語となるのでしょうか。ロータリーというのは、こんな政治のすき間、歴史のすき間を埋める作業をひとり一人が出来ることから始める行為だと思います。とりわけ次世代を育てることは、私達ロータリアンが第一の柱にすべきプログラムだと考えます。

<紙面の都合上、ニコボックスは次号に掲載します>

